

第21回 黒潮ジュニア選手権

於 Kochi 黒潮カントリークラブ

開催日 令和3年8月3日【火】4日【水】

競 技 規 則

1. ゴルフ規則
日本ゴルフ協会ゴルフ規則及び競技特別規則を適用します。
2. 使用クラブ及び使用球
ローカルルールひな型 G-1・G-2・G-3 を適用します。
このローカルルールに違反したクラブ又はボールでストロークを行った場合は失格とします。
3. スタート時間
プレーヤーが自分のスタート時間を過ぎると遅刻とし2打罰とします。但し、5分以上の場合は競技失格とします。
4. 競技終了時点
本競技は競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなします。
5. 順位の決定
各部門1位にタイが生じた場合は、即日競技委員会の指定するホールにてプレーオフを行います。但し、日没等のため決着がつかない場合又は2位以下の同スコアの優先順位の決定方式は、18番ホールよりカウントバックとします。
6. 使用ティーマーク
高校男子：青マーク 中学男子：白マーク 高校女子：赤マーク 中学女子：銀マーク
小学高学年：ピンクマーク 小学低学年以下：黒マーク
7. 競技成立条件
9ホール終了時点で競技は成立したものとします。
8. プレー形式
小学生の部はハウスカディ付き、中学生、高校生の部はセルフプレーとします。(帯同キャディは受付いたしません)
全部門カート付きとし、いかなる場合でも乗車する事ができます。
9. 本競技は距離計測機器の使用を認めます。プレーヤーは距離のみを計測する機器を使用することができます。
ただし、他の条件（高低差や風速など）を計測するために距離計測機器を使用した場合は2打罰とし、その後さらに同じ違反があった場合は競技失格とします。
10. ホールとホールの間での練習禁止
競技者はプレーを終了したばかりのホールのグリーン上及びその近くで、いかなる練習ストロークも行ってはなりません。
(但し、ハーフ終了後の指定練習場でのパッティング等を除きます) 本条件の違反は、次のホールに2罰打。

< 競技特別規則 >

1. アウトオブバウンズの境界は、白杭をもって表示します。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示します。隣接するホール相互間の白杭は、現にプレー中のホールに対するOB線とします。
2. 修理地は青杭又は白線をもって標示します。プレーヤーの球が修理地内にある場合、またプレーヤーの意図するスタンス区域やスイング区域にかかる場合は、救済を受けることができます。但し、高校生の部において、暖流コース9番ホール残り約100Y地点にある修理地はプレー禁止とし、スタンスやスイングがかかる場合でも救済を受けなければなりません。
3. コース内の排水溝、散水設備、樹木の支柱・支線、その他人工の構造物は、動かさない障害物とします。
4. 人工の表面を持つ道路に接した排水溝、もしくは、平行しているものは、その道路の一部とみなします。
5. 現にプレーしているホールのグリーン以外のグリーン上にある球をプレーしてはなりません。
6. プレーヤーの球がパッティンググリーン上にある場合、その球やボールマーカーが偶然に動かされても罰はありません。その動かされた球やボールマーカーは元の箇所にリプレースしなければなりません。
7. 黒潮コース7番、12番、15番ホールでプレーヤーの球がレッドペナルティーエリアに入った場合は、1打罰として指定のドロップゾーンにドロップすることが出来ます。(小学生の部のみ適用)
8. 黒潮コース17番のバンカーに面した枕木は、人工の構築物とはみなしません。よって無罰で救済する事が出来ません。
9. スコアカード提出所は、赤ラインでゾーンとします。スコアカード提出後ゾーン内から出ない場合に限り、何度でも記載内容の変更を認めます。(但しスコア変更の場合マーカー同意と致します)
10. 小学生の部において、低学年(4年生以下)の選手でも高学年(6年～5年生)の部への参加を認めます。中学生男子及び女子の選手でも高校生男子・高校生女子の部への参加を認めます。ただし申し込み締め切り後の部門の変更はいたしません。
11. ラウンド中は、携帯電話の持ち込みを禁止とします。(競技失格とする場合があります)

注 意 事 項

競技の条件または競技特別規則に追加変更のあるときは、クラブハウス内に提示して告知します。

競技当日の練習は指定練習場にて行い、打放し練習場においては備え付けの球を使用し、1人25球を限度とします。

プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当にあげないように注意して下さい。プレーの不当な遅延についてはペナルティを課します。タイムパー・ハーフラウンド2時間30分とします。

競 技 委 員 長
森 勲